

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	塵芥収集管理費		部課コード	1808	予算事業科目	010403010103	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	環境部	部長名(2次評価者)	坂本 導昭		個別事務	一部	010403010103	-	5	
	担当部署	環境業務課	所属長名(1次評価者)	伊野部 彰裕					-		
	電話番号	088-884-3144	E-mail	kc-180800@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	大綱	01 共生の環	政策基本方針	日々の生活で消費される化石燃料など天然資源の枯渇は、わたしたちの生活に深刻な影響を及ぼすことから、資源を有効に利用し、廃棄を最小限に抑える循環型社会の構築が求められています。市民・事業者・行政の協働による3R(リデュース・リユース・リサイクル)の徹底及びごみの発生抑制に取り組みます。また、廃棄物の不法投棄など不適正な排出の撲滅に向けた対策を充実します。						
款	04 衛生費	政策	06 環境負荷の少ない循環型社会の形成								
項	03 清掃費	施策	02 廃棄物の適正な処理								
目	01 塵芥処理費	区分	05 収集処理体制の充実								

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	地方自治法・その他関係法令等	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	クリーンセンターの光熱水費等の経費	
意図	どのような状態にしていくのか	節電・節水を徹底し、コスト削減を図る	
手段	事業実施体制等	消灯の徹底・適切な温度管理を行い、デマンド監視装置を活用し、電力量を抑制する。	事業開始年度 - 事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	高知市環境保全率先実行計画に基づき光熱水費(電気・水道・ガス)の使用量の削減を図る。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	光熱水費総額	光熱水費の経費が前年度実績を下回るように抑制する
	B		
	C		

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標	10,475	9,065	7,482	7,295	平成21年度(実績)にはボイラー燃料費1,800千円を含む	
		実績	8,805	7,354	7,175			
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	8,805	7,354	7,175	7,295	平成24年度は当初予算額	
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	8,805	7,354	7,175		7,295
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	7,400	7,200	7,200	7,400		
		正規職員(千円)	7,400	7,200	7,200	7,400		
		その他(千円)						
		人役数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00		
		正規職員(人)	1.00	1.00	1.00	1.00		
		その他(人)						
総コスト=①+②(千円)		16,205	14,554	14,375	14,695			
市民1人当たりコスト(円)		48	43	43		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数(人)		339,714	339,130	337,875				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

グリーンセンターの施設・設備は、老朽化による機能低下が著しく、維持管理費の削減を図るため、設備改修を行った。
 平成21年度
 ●ボイラー給湯からエコ給湯に変更
 ●空調設備をクーリングタワー設備・ボイラー設備から省エネタイプのエアコンに変更
 燃料費・電気料・水道料・ボイラー施設管理委託料・修理費等の経費の大幅な削減をした。
 平成23年度
 ●デマンド監視装置を設置し、最大電力量を抑制することにより電気料の削減を図った。
 維持管理費の更なる削減のため、業務の遂行に支障のない範囲内での消灯、設定温度管理、節水に努めるよう徹底していく

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 5 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	施設の維持管理費の約3割を占める光熱水費の削減に向けた取り組みを進めることは、地道なことではあるが、環境負荷の少ない循環型社会の形成を推進することに結びついている。また、今夏は、計画停電が現実味を帯びたことから、節電に向けた市民の意識も高まっている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	消灯の徹底・適切な温度管理を行い、デマンド監視装置を活用し、電力量を抑制している。また、光熱水費の決算額は、3年連続で減少しており、指標は十分達成している。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	3.0	大規模な施設ではなく、行政が直接管理する事が妥当であり、経費節減についても決算額から分かるように効率的に実施できている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	公平性は十分保たれている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合 点	17.0	総合 評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 12 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	本市の廃棄物行政を進める上で、必要不可欠なごみ収集車両基地の維持管理費であるが、現在の施設は老朽化・狭小化に加えて、津波長期浸水区域内に位置しており、平成26年度末の移転、竣工に向けて取り組んでおり、それまでの間は、事業費の経費削減に努めながら、施設の適正管理を行っていくこととしている。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項